

名 称：日本学術会議公開シンポジウム「東日本大震災を教訓とした安全安心で持続可能な社会の形成に向けて」

概 要：山村の広域放射能汚染と暮らしの回復・復興

開催期間：平成26年9月7日

対 象：国内

参加人数：100名

(本郷千春)

名 称：講演会「Utilization of remote sensing for Farming」

概 要：インドネシア・ウダヤナ大学の教員及び学生にリモートセンシングの基礎と農業分野の応用事例について講演を行った。

開催期間：2015年1月15日

対 象：国際

参加人数：約60名

名 称：ワークショップ「“Agriculture Insurance as Adaptation to Climate Change toward the Sustainable Society” - Utilization of technology for assessment and implementation-」

概 要：インドネシア・バリ州農政部職員、Mengwi郡農政部職員、ウダヤナ大学の教員及び学生、米国ペンシルベニア大学の教員、公益社団法人全国農業共済協会、千葉大学教員参加の下に、気候変動に対する適応策としての農業保険及び新しい被害評価方法とその社会実装について発表と討論を行った。

開催期間：2015年3月12日

対 象：国際

参加人数：約70名

[4] 受賞・特許

(ヨサファット テトコ スリ スマンティヨ)

- ・ 学長賞（優秀賞）：Josaphat Tetuko Sri Sumantyo、千葉エリア産学官連携オープンフォーラム2013” 千葉県発先端的小型衛星・大型無人航空機の開発”、2013年11月25日（CEReSニュースレター平成25年11月号：No.96 に概要掲載）
- ・ Outstanding Paper Award: Heein Yang, Dal-Guen Lee, Tu-Hwan Kim, Josaphat Tetuko Sri Sumantyo, and Jae-Hyun Kim, “Semi-automatic coastline extraction method using synthetic aperture radar images” The 16th International Conference on Advanced Communication Technology (ICACT 2014), Paper ID 20140473, Phoenix park, Republic of Korea, 16-19 February 2014.
- ・ 特許出願
楢円・円偏波合成開口レーダ及びこれを搭載した航空機及び人工衛星 (Elliptical and Circular Polarized Synthetic Aperture Radar, Aerial Vehicle and Satellite)、特願番号：2014-214905 (2014年10月21日)

(齊藤隼人・眞子直弘・久世宏明)

- ・ SICEリモートセンシングシンポジウム、リモートセンシング部会賞、2014年3月2日（ニュースレター平成27年3月号に掲載）